

## 安全ニュース



## ハチ刺され対策

スズメバチは  
7～10月が  
最盛期



## ハチ刺され事故発生状況

〔県内18シルバー人材センターでの事故件数〕

平成30年度 35件 内訳→草刈・除草作業18件、剪定等作業15件、清掃等作業2件  
平成29年度 31件 内訳→草刈・除草作業13件、剪定等作業12件、清掃等作業6件

毎年、6月～9月は、ハチ刺され事故が多く発生しています。

ハチ刺され事故を防ぐには、先ずハチに刺されないことが基本

- ☐ 作業前にハチが飛んでいないか、必ず作業現場の状況の確認を行いましょう。
- ☐ 常に「携帯用ハチ撃退用スプレー」をポケットに入れて作業しましょう。
- ☐ 巣に近寄らない、巣に振動などの刺激を与えない、巣の近くでは作業しないことを常に心がけましょう。



## ハチの攻撃の特徴



いきなり、無差別に人に攻撃を仕掛けるわけではありません。

速やかに  
危険区域から  
離れましょう

- ① 巣への接近に対する**警戒**⇒巣を離れて周囲を飛び回る。
- ② 巣への接近に対する**威嚇**⇒警戒していたハチが高い羽音を発して飛び回る。
- ③ ハチの**威嚇を無視し、これに気がつかない**場合、また**巣に振動を与えた**場合  
⇒巣内から多くのハチが飛びだし大騒ぎになる。相手にまっすぐ飛びかかり毒針で刺す。
- ④ **巣に直接刺激**したり、**巣を破損した**場合  
⇒巣内から多くのハチが一斉に巣の外へ飛び出し、いきなり飛びかかりすぐ刺す。



出典：林野庁ホームページ



# 熱中症対策

熱中症患者の  
半数は65歳以上  
の高齢者

## 【作業するうえでの熱中症対策】

### 作業時間の短縮

- ☐ 休憩時間の延長
- ☐ 暑さのピーク時間帯の作業中止
- ☐ 早朝などへのシフト



### 暑さへの順応

暑さに順化するには**1週間必要**⇒計画的に順化させる

- ☐ 暑さに慣れること。
- ☐ 2～3日で自律神経(発汗反応)が変化する。
- ☐ 4～5日で塩分の損失を抑える効果あり、汗がサラサラになり蒸発・気化しやすくなる効果あり

急に暑くなった日の  
初日に作業するのは  
危険!



### 水分・塩分の摂取

- ☐ 0.1%～0.2%の食塩水を20～30分おきにコップ1～2杯摂取することを推奨
- ☐ 市販のスポーツドリンクが便利(糖分のとりすぎに注意)
- ☐ 定期的に摂取することが重要

注意



高血圧症の方は、  
塩分の摂取が適当かどうか  
主治医に確認が必要!

### 服 装

- ☐ クールジャケットなどの透湿性・通気性の良い服装を着用
- ☐ 直射日光下では、通気性の良い帽子などを着用



## 【熱中症に影響を与える要因】

### 日常の健康管理が重要

- ☐ 睡眠不足
- ☐ 朝食の未摂取
- ☐ 体調不良
- ☐ かぜなどによる発熱
- ☐ 前日の飲酒
- ☐ 下痢などによる脱水



出典：厚生労働省ホームページ

令和元年度  
安全就業標語

優秀作 『自信、過信 心のすきまに ひそむ事故』



公益社団法人石川県シルバー人材センター連合会

〒920-0862 金沢市芳斉1丁目15番15号  
TEL: 076-222-4680 FAX: 076-222-4681